

三田 和代さん

中高9期



紫綬褒章受賞



紫綬褒章受賞おめでとうございます。

お稽古中で大変お忙しい中、質問事項を送り、その回答をテープに入れていただきました。

—追手門学院の学生時代の思い出は。

中学高校と6年間追手門に通いました。この6年間で私の人生の中で一番おだやかな時代でした。とりたててドラマティックな思い出はないですね。おとなしい生徒でした。

—演劇部での思い出は。

中学は佐藤良和先生、高校は中川貴先生指導のもとにクラブ活動していました。お二方とも大変熱心な先生でしたので、先生の力にひばられて稽古し、自主的ではなかったです。1年先輩に女性部員が多く、その方たちとワイワイやってるのが楽しかったですね。

—何故女優になろうと思われたのか。

大変演劇の好きな姉(高2期多喜晴代さん、山桜会理事)がおりまして、中学の時にもう姉は関西学院大学の劇研究会に入って活動していました。13,4歳の頃より一緒に新劇を見ておりましたし、借り出されて子役として劇研の芝居にも出ておりましたし、舞台演劇からそう遠くない所にいました。演劇に親しませてくれた姉がいなかったら女優にはなっていなかったと思います。

—女優になられたきっかけは。

姉と同じ関西学院大学に私も進み、劇研に入ったのですが、安保闘争の後で社会運動的な演劇部になってまして、あまりおもしろくありませんでした。ある時、雑誌の俳優座付属俳優養成所の募集要項が目にとまり、

ここに行けばお芝居の好きな人がいるかもしれないと思い試験を受けました。合格していなかったら、あきらめてしまっていたと思います。

—思い出に残る作品は。それは何故。

平成12年の栗山民也演出ユージン・オニール作「夜への長い旅路」をあげます。57歳の時の作品で、これまでやってきたことのすべてをこの作品に集約し、もうこれ以上のことはできないというところまで力を出し尽くしました。稽古、稽古で、膨大なせりふをテンポよくしゃべるといことで、唇から血がでるくらい稽古しました。お陰さまでこれで2度目の読売演劇大賞最優秀女優賞を頂きました。涙が出るくらいうれしかったです。認められたんだと心の中に充足感が残った作品です。

—思い出に残る共演者は。

「滝沢家の内乱」で共演した民芸の大滝秀治さんです。滝沢馬琴とその息子の嫁とのスリリングな二人芝居でした。大滝さんは情熱的で夢中になる方で、本当に一生懸命なんですね。日々何かがあるかわからないんです。一緒に過ごした時間がわくわくするようなひとときでした。大好きな俳優さんです。

—今後どのような作品に出演したいか。

来るもの拒まずで、積極的に噛み砕いて食べて生きたいと思います。どんなものが歯にはさまろうとも頑張るぞという思いであります。

—どのような女優になっていきたいか。

今日という日に正直に生きたいし、今日という日を精一杯生きたいし、新しい私をまだまだ毎日発見できるような自分でありたいと思っています。

—ありがとうございました。



弁護士法人
川原総合法律事務所
Kawahara Law Office

弁護士 川原俊明
(小71・中高14期)

弁護士 中村信仁
弁護士 尾熊弘之
弁護士 稲永泰士
弁護士 中橋 敦
弁護士 杉本智則

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号 幸田ビル8階
TEL : 06-6365-1065 (代表) FAX:06-6365-7265
E-mail:kawahara@e-bengo.com
http://www.e-bengo.com

私たちは、食を通じて社会に貢献します

サトレストランシステムズ 株式会社

代表取締役執行役員社長 重里 欣孝 (大高24期)

〒532-0027 大阪市淀川区御川3-7-6
Tel.06-6309-6301
www.sato-restaurant-systems.co.jp

http://www.yukita.co.jp/

YUKITA

人と情報・エネルギーの
国際交流をサポートします。

行田電線株式会社

本社/大阪市城東区古市1丁目2番11号
TEL(06)6933-5811 FAX(06)6934-7335

支店/東京 海外/香港・上海・外高橋(上海)・シンガポール
海外工場/上海・滁州(安徽省)・深圳(広東省)